

第 30 回伊賀市意育教育特区学校審議会 記録

◎ 開催日時：平成 28 年 9 月 26 日（月） 17：30～18：43

◎ 開催場所：大山田農村環境改善センター 大会議室

◎ 出席者（敬称略）

審議会委員	直木葉造（会長・学校法人 愛農学園農業高等学校長） 近森正利（副会長・伊賀市議会議員） 中谷英子（税理士） 東 則尚（三重県立上野高等学校長） 坂本安司（上津地区代表者）
事務局	野口俊史（教育長） 児玉泰清（教育次長） 中林靖裕（ウィッツ青山学園高等学校対策監） 伊室春利（ウィッツ青山学園高等学校対策室 室長） 澤田 剛（学校教育課長） 伊藤博和（ウィッツ青山学園高等学校対策室） 立岡優孝（ウィッツ青山学園高等学校対策室）
三重県	小川 課長（環境生活部 私学課） 吉川 主幹（環境生活部 私学課 私学班） 辻井 指導主事（教育委員会事務局 高校教育課 高校教育班）
傍 聴	15 名

（進行：中林対策監）

・あいさつ

会長：お忙しい中お集まりいただきまして、ありがとうございます。今日も大事な審議がなされますので、よろしく願いいたします。

野口教育長：短い日の中で、何回も審議会を開いていただきまして、ありがとうございます。前回の審議に引き続きまして、内容を深く話し合ってくださいますよう、よろしく願いします。本日は、誠にありがとうございます。

・審議会の成立を報告（中林対策監）

(以下、会長が進行)

1. 当審議会の公開・非公開について

【審議事項4.(1)以降を非公開決定】

2. 議事録の確認について(資料1)

会 長：お気づきの点がありましたら、事務局へ申し出ていただきたいと思います。

3. 報告事項

(1) 履修回復措置状況について

(資料2に基づき、伊室室長から説明)

委 員：29日、30日と、今週の参加予定者の人数は決まっていますか。

中林対策監：もちろん、3年生も参加見込みであります。それから、在校生もいるということで、特に3年生につきましては、最終日まで受講したいという生徒の意向に沿いまして、学校の体制ができましたので、この2日間行いたいということです。数名、受講予定ということで学校から報告がありました。

委 員：財政面のことですが、伊賀市がほぼ立て替えている費用に関しては、相手方に請求をされていると思いますが、それに対する返答はどうですか。

中林対策監：何回か審議会へ社長がお見えになった時に、回復措置については会社の方で100%負担しますということでした。一部につきましては請求をさせていただきましたが、まだ、それについては、支払いはいただいております。9月で、伊賀市として負担するべき、支払うべき経費が、回復措置については10月以降発生しないと考えておりますので、今、9月中までの合計の金額をまとめまして、残りの金額を請求しようと進めています。

委 員：相手の意思是、どうですか。

中林対策監：文書で「支払う意思はあります」といただいているんですが、ただ、回復措置につきましては、最終的に終了した段階で総額を払いたいと申し上げておりますので、先程申し上げたとお

り、9月で一旦は費用をまとめられると思いますので、請求しまして、費用弁償させたいと思います。

会 長：未完了者が3年生で44名ですが、完了者に関しては、認定委員会で認定されたということですか。

伊室室長：認定委員会で資料としてお示しした以後に、回復措置の完了者がいますので、その方については随時、認定委員会を開催せずに決裁で対応している状況ですので、認定委員会以後も数字が動いております。

会 長：分かりました。ぎりぎりまで、回復措置が続けられるということですね。この段階では、まだ完了していない方が11%いるということですね。

(傍聴者退席)

(以下、非公開審議)

4. 審議事項

(1) 答申の検討について

5. その他

会 長：よろしいでしょうか。今日の予定はすべて終わりましたので、以上で終わりいたします。ありがとうございました。

(閉会)